



## きょうりゅう あたま 恐竜は頭がよかったの

### あまりあたまはよくなかった

きょうりゅう は、おお からだ のわりには、ちい のう 恐竜は、大きな体のわりには、小さい脳しかもっていませんでした。ですから、たいていの 恐竜は、あまりかしこいとはいえなかったようです。

かせき どうこつ から、およそののう おお のう ちい 恐竜の中で、脳が小さいほうの たいひょう は、ステゴサウルスです。たいじゅう のう おも くら 体重と脳の重さを比べてみると、ステゴサウルスはまんぶん の1、人間の大人の男性はおよそ50分の1です。のう ちい 脳が小さいかわりに、ステゴサウルスはこし ぶ ぶん こし やしっぽの動きを伝える、おお しんけい 大きな神経のかたまりをもっていました。

きょうぼうな 恐竜 ティラノサウルスののう ほそなが はったつ きゅうかく し かく ちょうかく の神経をもっていたと かんが 考えられています。

### げんざい とり おな あたま きょうりゅう 現在の鳥と同じくらい、頭のよかった恐竜もいた

きょうりゅうじだい お ちか あらわ 恐竜時代の終わりに近いころ現れた、ステノニコサウルス(トゥロオドン、トロエドンともよぶ)は、たいちょう は2メートルとちい おお のう きょうりゅう たいひょう 体長は2メートルと小さいが、大きな脳をもっていた 恐竜の代表です。たいじゅう のう わりあい げんざい とり おな おも はや あし おお め とり 体重と脳の割合は、現在の鳥と同じくらいだったと思われています。速い足、大きな目、鳥のような顔をもち、トカゲやほにゅうるい きょうりゅう 恐竜の子どもなどを食べていたようです。

きょうりゅう なか す つく たまご う 恐竜の中には、巣を作って卵を産み、こ そだ どもを育てるマイアサウラや、むれ 群をつかって子どもを守ったり、えもの 獲物をとらえたりするものもいたようなので、それぐらいの あたま 頭のよさはあったようです。



子育てする恐竜マイアサウラ

(監修・今泉 忠明)

